

2017年3月1日の変動証拠金義務適用に向けた準備に向けて 必要なステップ

ステップ1 – 適用規則を判定する

各カウンターパーティーに対して、貴社に適用される規則を判定します。ISDA Amend上のISDAセルフ・ディスクロージャー・レター (SDL)¹を利用することによって、判定に必要な情報をカウンターパーティーと交換することができます。判定は法人レベルで行われることにご留意ください。

考慮すべきポイント:

- ✓ 貴社のグループの中で、非清算集中デリバティブを取引する法人を全て特定する。非清算集中デリバティブを代理として取引する場合には、その際の全てのプリンシパルを特定する。
- ✓ 必要に応じて、各組織についてISDA Amendを設定する。
- ✓ 上記の非清算集中デリバティブの全てのカウンターパーティーを特定する。
- ✓ 複数の国に関わるマルチ・ブランチが介在する取引関係の有無を特定する。
- ✓ ISDA Amend上でカウンターパーティーからのSDL情報のリクエストの有無を特定し、これに対応する。

ステップ2 – 契約書の締結・修正方法を選択する

適用規則に基づき、各法人と各カウンターパーティーの間のデリバティブ契約書を修正する必要性の有無を判定します。規則が、貴社の法人に直接適用されるという理由、あるいは貴社の法人のカウンターパーティーに適用されるという理由によって、修正が必要になり得ることにご留意ください。

考慮すべきポイント:

- ✓ 現時点で、貴社の法人が各カウンターパーティーとどのような契約関係にあるのかを特定する。
- ✓ 適用規則を順守するための契約書の締結・修正方法を検討する。
- ✓ 貴社とカウンターパーティーが、規則に即した契約関係を構築する方法を検討する。



ステップ3 – 2017年3月1日に備えて契約書を締結・修正する

両当事者が確実に適用規則を順守するよう合意した契約関係の変更は、2017年3月1日の期限より前に余裕をもって締結する必要があります。ISDA 2016年変動証拠金プロトコルに参加して、各カウンターパーティーと ISDA Amend 上で質問書を交換することによって、契約書の締結・修正を行うことも可能です。

考慮すべきポイント:

- ✓ ISDAのウェブサイト上で、ISDA2016年変動証拠金プロトコルに参加する。
- ✓ 貴社の選択した契約書の締結・修正方法に即した形で、各法人について必要な質問書の回答を用意する。
- ✓ ISDA Amend 上でカウンターパーティーと質問書のドラフトを共有し(2016年11月25日以降に利用可能)、選択事項の照合とプロトコルに基づく変更内容の決定を行う。必要に応じて、質問書のドラフトを修正する。
- ✓ ISDA Amend 上で質問書の最終版をマッチングさせる(2016年12月中旬以降に利用可能)。

ステップ4 – 2017年3月1日より前に必要な事務体制の変更を実行する

新たな契約関係に対応するために必要な事務体制の変更点を特定します。

考慮すべきポイント:

- ✓ 担保資産の種類、ヘアカット率、決済のタイミングなどの変更を確認する。米国の規則が適用される場合、担保資産をT+1で決済することが求められる。
- ✓ 既存取引と(施行日以降の)新規取引の処理方法を分ける場合など、担保授受の事務フローを変更する。

ISDAについて

1985年に設立して以降、ISDAはより安全で効率的なグローバルでのデリバティブ市場に向けて活動を行っています。現在、67カ国、850社を超える会員によって構成され、事業法人、運用会社、政府や国際機関、保険会社、エネルギーやコモディティ関連会社、グローバルな金融機関や地域金融機関等、広い範囲の市場参加者が活動に参加しています。また、市場

参加者に加えて、取引所やブローカー、中央清算機関、取引データ・レポジトリ、法律事務所、会計事務所等、デリバティブ市場のインフラを支える主要な企業も会員として参加しています。ISDAに関する情報は、協会のウェブサイト(www.isda.org)をご覧ください。